

エコアクション 21

環境経営レポート



セラ美装有限公司

対象期間：2022 年 10 月 1 日 ～ 2023 年 9 月 30 日

発行 2023 年 10 月 13 日

目次

1. 事業概要	1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	6
3. 環境経営方針	7
4. 環境負荷の調査結果	8
5. 環境目標	9
6. 環境活動計画	10
7. 環境目標の実績	12
8. 環境活動計画の取組結果とその評価及び今後の取組内容	13
9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	14
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	14

1. 事業概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

セラ美装有限会社

設立年月：平成2年3月

資本金300万円

代表取締役 野村 俊明

(2) 所在地

本社：〒722-1624 広島県世羅郡世羅町田打 596-1

リサイクルセンター：〒722-1624 広島県世羅郡世羅町青山

	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日	概要
産業廃棄物収集運搬業	広島県知事 第 03416032560 号	令和2年7月24日	令和7年7月23日	【積替え・保管を含む。】 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず （工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）、陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント配線板、鉛製の管又は板、廃石膏ボード、廃容器包装及び石綿含有産業廃棄物を含み、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。） 【積替え・保管を含まない。】 燃え殻、汚泥及びはいじん （これらのうち水銀使用製品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以下余白

一般廃棄物収集運	世羅町許可第5号	令和5年4月1日	令和7年3月31日	取扱い廃棄物： 一般廃棄物（固型）
一般建設業	広島県知事許可 （般-1）第36942号	令和2年6月5日	令和7年6月4日	建設業の種類： 土木工事業 鋼構造物工事業 しゅんせつ工事業 解体工事業 石工事業 舗装工事業 水道施設工事業
冷媒フロン回収業	登録番号 P175	令和3年8月2日	令和8年8月1日	第一種特定製品の整備、廃棄等の際に、その第一種特定製品に対してフロン類を充填又は回収を行う。
清掃業				業務内容： 施設内等清掃
建築物石綿含有建材調査業	一般建築物石綿含有建材調査者 神奈川1 第20071051号 労働安全衛生法による技能講習終了証 第494187号	2020年7月16日 2020年6月25日		業務内容： 建築物の通常の使用状態における石綿含有建材の使用実態を的確かつ効率的に把握する。

（3）主要設備

①所有車輛

- ・塵芥車 8 台
- ・ダンプ 3 台
- ・キャブオーバー 1 台
- ・バン1台

- ・コンテナ専用車 2 台
- ・営業車 2 台
- ・ミニユンボ 1 台
- ・バックフォア0.25クラス 1 台
- ・破碎機1台

②広島県産業廃棄物収集運搬業許可における積替え保管施設

所在地	面積	積替え又は保管を行う産業廃棄物の種類	保管上限及び積み上げることができる高さ
広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-2	6.9 m ²	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（これらのうち廃石膏ボード及び廃容器包装を含み、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。）	8 m ³ 保管容器
広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-2	3.4 m ²	がれき類（石綿含有産業廃棄物であるものを含む。）	4 m ³ 容器保管
広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-2	6 m ²	ゴムくず（石綿含有産業廃棄物であるものを除く。）	6 m ³ 容器保管
広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-2	6.9 m ²	金属くず（廃プリント配線板、鉛製の管又は板、廃容器包装、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。）	8 m ³ 容器保管
広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-2	6.9 m ²	金属くず（廃プリント配線板、鉛製の管又は板及び廃容器包装を含み、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。）	8 m ³ 容器保管
広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-2	6.9 m ²	廃プラスチック類（廃プリント配線板、廃容器包装、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。）	8 m ³ 容器保管

広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-2	1.5 m ³	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(これらのうち水銀使用製品産業廃棄物を含み、石綿含有産業廃棄物であるものを除く。)	1.3 m ³ 容器保管
広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-2	130 m ³	紙くず、木くず及び繊維くず(これらのうち石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。)	130 m ³ 1m
広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-1	46.7 m ³	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず及びがれき類(これらのうち廃プリント配線板、鉛製の管又は板、廃石膏ボード及び廃容器包装を含み、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物であるものを除く。)	55 m ³ 容器保管
広島県世羅郡世羅町大字 青山字若永峠山 10074-2	4 m ³	がれき類(石綿含有産業廃棄物であるものを除く。)	4 m ³ 容器保管

(4) 連絡先

環境の管理責任者 野村 俊明

連絡担当者 野村 寿子

連絡先 TEL 0847-27-0315

FAX 0847-27-1170

E-mail s-bisou@mail.mcat.ne.jp

(5) 事業規模

活動規模	単位	2020 年 10 月 ～2021 年 9 月	2021 年 10 月 ～2022 年 9 月	2022 年 10 月 ～2023 年 9 月
産業廃棄物 収集運搬量	t	157.86	153.08	99.25
一般廃棄物 収集運搬量 (事業・臨時)	t	897.21	1785.7	1929.46
一般廃棄物 収集運搬量 (家庭系)	t			1437.67
		2020 年 10 月 ～2021 年 9 月	2021 年 10 月 ～2022 年 9 月	2022 年 10 月 ～2023 年 9 月
工事等の件数	件	24	5	11
売上高	百万 円	177	198	187
従業員数	人	25	25	25
事務所床面積	m ²	117	117	117

事業年度は 10 月 1 日～9 月 30 日

3. 環境経営方針

わが社肝心要の3か条

01 思いやりの心

誰に対してもどんな物事にも思いやる心が肝心です。

01 親切・迅速・丁寧

わが社の仕事はサービス業です。お客様住民の皆様には親切に、速やかに、丁寧に接することが肝心です。

01 報告・連絡・相談

わが社の仕事は何事も一人では成り立ちません。社会に対してまた、先輩、同僚、後輩に対して報告し、連絡し、相談することが肝心です。

思いやり5つの行動

01 落ちているゴミは必ず拾いましょう！

01 大きな声で先に挨拶をしましょう！

01 靴を脱いだら人の靴もそろえましょう！

01 身だしなみをきれいにしましょう！

01 困っている人がいたら声をかけましょう！

基 本 理 念

私達は、環境にやさしく、安全かつ迅速な業務の遂行を通じて地域環境問題への重要性を認識し、人間生活・産業・自然との共生を目指し、社会に貢献します。

行 動 指 針

私達は、次のことについて重点的に取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量削減に努めます。
2. 廃棄物排出量の削減及びリサイクルに努めます。
3. 節水に努めます。
4. グリーン購入や調達に努めます。
5. 再生資源の積極的利用に努めます。
6. 上記について環境目標、環境活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
7. 私たちは、環境に関連して適用される法令、及び、その他の要求事項を遵守します。

制定 平成30年4月1日
改訂 令和 2年8月20日
セウ美装有限公司
代表取締役社長 野村 俊明

4. 環境負荷の調査結果

環境負荷削減の目標及び環境活動計画を策定するため、2022 年 10 月～2023 年 9 月の環境負荷実績の調査結果は下表のとおりです。

環境への負荷			単位	2022 年度
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素		kg-CO ₂	137,066.47
② 廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	総排出量	kg	420
		再資源化量	kg	120
		可燃・不燃	kg	300
		再資源化率	%	28.57%
	産業廃棄物	総排出量	t	530.93
		再資源化量	t	338.01
		最終処分量	t	192.92
		再資源化率	%	63.7%
③ - 1 総排水量	公共用水域		m ³	10
	下水道		m ³	0
④ - 2 水使用量	上水		m ³	10
	工業用水		m ³	0
	地下水		m ³	0
⑤ 化学物質使用量	UFHCOAT VT-3001		kg	54.0
⑥ エネルギー使用量	購入電力（新エネルギーを除く）		kWh	5,110
	建設現場等の購入電力		kWh	0
	ガソリン		L	4,348.93
	建設現場等のガソリン		L	483.17
	軽油		L	42,338.71
	建設現場等の軽油		L	4,704.23
	灯油		L	650
⑦ 資源等使用量	資源使用量		t	0
	循環資源使用量		t	0
⑧ サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質等		t	0
	水の利用量		m ³	0
⑨ 総製品生産量または 総商品販売量	製品生産量等		t	0
	環境負荷低減に資する製品等		t	0

二酸化炭素排出係数は中国電力の 2019 年度実績の基礎排出係数 0.561kg-co₂/kWh を使用

5. 環境目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果により以下のような目標を設定しました。

なお、目標設定基準は2017年10月から2018年9月までのデータを使用しています。

目標・活動項目(単位)		場所	基準値			
			(2017年10月～ 2018年9月)	2022年10月～ 2023年9月	2023年10月～ 2024年9月	2024年10月～ 2025年9月
1. 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減（電力使用量）（kWh/円）	売上比	1. 17%	2. 50%	2. 50%	2. 50%
	自動車燃料使用量の削減（L）	売上比（ガソリン）	7. 44%	6. 90%	6. 80%	6. 70%
		売上比（軽油）	24. 26%	23. 50%	23. 50%	23. 40%
2. 一般廃棄物の削減（kg）				基準比 4. 0%削減	基準比 4. 0%削減	基準比 5. 0%削減
		事務所	229	220	220	217
3. 建設廃棄物量の再資源化向上		現場	木くず リサイクル 1 0 0 %	木くず リサイクル 1 0 0 %	木くず リサイクル 1 0 0 %	木くず リサイクル 1 0 0 %
4. 水道水の削減（m ³ ）				基準比 2. 0%削減	基準比 2. 0%削減	基準比 3. 0%削減
		全体	131	128	128	127
5. グリーン購入の推進 （購入品目数）		事務所	0	4	5	6
6. 時間外の騒音発生件数		現場	0	0	0	0

※化学物質は適正管理を実施する。

6. 環境活動計画

	環境目標 関連する SDG s ゴール	実施項目	責任部門
1	電気使用量の削減 (CO2 の削減) 《目標》 売上 1 万円に対する電力 使用量 2.5 (kWh/万円) 	① 省エネ目標説明 ②不要照明の消灯 ③クールビズ・ウォームビズ運動 ④エアコンの温度設定を厳守する(冷 房 28℃・暖房 22℃) ⑤エアコン使用時間を 10:00~16: 00 に限定する ⑥扇風機により空調負荷の低減を図る	エコアクシ ョン事務局
2	燃料使用量の削減 (CO2 の削減) 《目標》 売上 1 万円に対する運搬 車燃料(ガソリン・軽 油) (ガソリン) 0.7ℓ/万円 (軽油) 2.4ℓ/万円 	①自動車燃費向上目標の説明 ②エコドライブの実施促進(教育) ③省エネ目標説明 ④ウォームビズ運動 ⑤エアコンとの効果的な併用の検討	エコアクシ ョン事務局
3	一般廃棄物の排出量削減 《目標》 基準値比: 4.0%削減 	① 一般廃棄物削減目標説明 ② 裏紙使用 ③ 再資源化できるものをゴミにしない	エコアクシ ョン事務局
4	建設廃棄物の再資源化率 向上 《目標》 再資源化木くずリサイク ル 100% 	①マニフェスト管理教育の実施 ②残余資材のリユース、リサイクルの 推進、及び、管理票による適正処理 (排出量管理) ③安全パトロール時のマニフェスト管 理の確認 ④建設廃棄物の分別の徹底 ⑤安全パトロール時の廃棄物の分別状 況の確認	エコアクシ ョン事務局

5	水資源使用量の削減 ≪目標≫ 水資源使用量 基準値比：2.0%削減 	① 流し放しにしない ② 節水呼びかけ ③ 洗車・洗濯時のルール策定	エコアクション事務局
6	グリーン購入の促進 ≪目標≫ グリーン購入対象品目 ：年1品目の追加 	① 事務用品についてグリーン購入の徹底を図る ②可能なものからグリーン購入該当製品への入れ替えを行う ③営業車、電気製品について買替等発生した際は「グリーン購入の指針」を優先して検討する。 ④営業車、電気製品について買替等発生した際は「グリーン購入の指針」を優先して検討する。	エコアクション事務局
7	時間外の騒音発生件数 ≪目標≫ 発生件数：0件 	① 早朝7時30分以前、夜間18時以降は騒音の発生する作業は、原則禁止 ②作業工程を工夫し、作業時間を短縮 ③できる限り低騒音型・低振動型の重機を使用 ④ 低騒音型・低振動型の施工方法の調査・検討	エコアクション事務局

7. 環境目標の実績

環境目標に対する達成状況は以下のとおりです。(2022 年 10 月～2023 年 9 月)

目標・活動項目(単位)		場所	目標 (2022年10月～2023年9月)	実績 (2022年10月～2023年9月)	評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減 (電力使用量)(kWh/円)	1万円あたりの電力使用量 (kWh/円)	2.5	2.71	×
	自動車燃料使用量の削減 (L)	1万円あたりのガソリン(レギュラー)(L)	0.70	0.25	○
		1万円あたりの軽油(L)	2.40	2.43	×
2. 一般廃棄物の削減(kg)			基準比 4.0%削減	基準比 183.40%	×
		事務所	220	420	
3. 建設廃棄物量の再資源化向上		現場	木くずリサイクル 100%	木くずリサイクル 100%	○
4. 水道水の削減(m³)			基準比 2.0%削減	基準比 7.65%	○
		全体	128	10	
5. グリーン購入の推進 (購入品目数)		事務所	4	4	○
6. 時間外の騒音発生件数		現場	0	0	○

8. 環境活動計画の取組結果とその評価及び今後の取組内容

環境活動計画の取組結果は以下のとおりです。

(1) 電気使用量の削減

冬になると暖房機器の利用が多くなってきます。室温管理を怠り、暖房機器が稼働し続けることが多々ありました。室温が十分に温まった場合、不要な暖房機器は電源を切り、省エネに努めて参ります。

(2) 燃料（ガソリン・軽油・灯油）使用量の削減

ルートの変更により、走行距離が増えました。ルートを見直し無駄な移動が無いように修正します。また、引き続きエコドライブは継続して行います。

(3) 建設廃棄物量の再資源化向上

残余資材のリユース、リサイクルの推進を行い、建設廃棄物の分別の徹底を今後も継続して行います。

(4) 一般廃棄物の排出量削減

事務所におけるリユース、リサイクル推進を行い、廃棄物の分別の徹底を今後も継続して行います。

(5) 水資源使用量の削減

今後も継続して節水に取り組めます。

(6) グリーン購入の推進

グリーン購入対象商品の調査・選定、及び購入を今後も継続して行います。

(7) 時間外の騒音発生件数

低騒音型・低振動型の重機を使用した施工方法の調査・検討を引き続き行います。また作業工程を工夫することにより、今後も作業時間の短縮を継続していきます。

■環境活動の取組に対する評価

廃棄物の収集運搬、解体工事ともに業績拡大し、エネルギーの使用量は増加するも、業務の生産性向上に取り組み、ムダのない適正なエネルギーの使用ができました。今後の事業拡大に向け、引き続き資源の効率的な使用に努めて参ります。

9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業に関する環境関連規制として、廃棄物処理法、再生資源利用促進法、建設リサイクル法、大気汚染防止法、騒音規制法、振動規制法、フロン排出抑制法、消防法などがあり、遵守状況を担当者が定期的に確認しておりますが、今まで違反や訴訟はありません。また関係当局からの違反等の指摘は今までありません。

又、地域住民から苦情やクレームなどはありませんでした。

クレームではありませんが、同業他社から県に対して当社の廃棄方法について調査依頼がありました。地元ではない場所の解体工事の際に、違法処理をしていると疑われました。県から抜き打ちの調査が入りましたが、当社は正式に申請をしており、問題なしと判断されました。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

回収量が増えたことで、パッカー車を1台増やしました。昨年と比較して売上に対して使用燃料が増えていることから、回収ルート of 修正が必要であると感じております。また、備品の使用量に関しても無駄がみられる為、改めて1つ1つの行動を見直し、修正する必要があると感じております。

空調機器の使用については、運用方法を改めることで、電気使用量に変化がありました。来年度は目標に対して大きくぶれないように取り組んでまいります。